

県立霞ヶ城公園絵図



二本松城主・城代等の変遷

領主	区別	氏名	支配期間
畠山	城主	満泰 (満盛) 重国 義義 村国 義綱	嘉吉年間(1441~1443) 天正14年(1586)7月
伊達政宗	城主	片倉 景成 綱実	天正14年(1586)7月
	城代	石母田 景頼 大柴 宗宗	天正18年(1590)8月
蒲生氏郷	城代	蒲生 郷成 野繁 仍和 町野 幸幸	天正18年(1590)8月 慶長3年(1598)3月
上杉景勝	城代	秋山 定綱 下條 定親	慶長3年(1598)3月~ 慶長6年(1601)8月
蒲生秀行 蒲生忠郷	城代	梅原 左衛門 弥山 安政 池屋 重右衛門 助右衛門 門屋 但馬守	慶長6年(1601)8月 寛永4年(1627)1月
〔幕府領〕	在番	酒井 近太夫 右田 原晴清	寛永4年(1627)1月~ 2月
加藤嘉明 加藤明成	城主	松下 重綱 松加 下長 藤明	寛永4年(1627)2月 寛永18年(1641)3月
		《加藤氏代官支配》	寛永18年3月~寛永20年5月
〔幕府領〕	在番	相馬 義胤	寛永20年(1643)5月~8月
丹羽(にわ)	城主	1 光重 2 長次 3 長寛 4 秀延 5 高貴 6 高長 7 長富 8 高長 9 長富 10 長国	寛永20年(1643)8月 明治1年(1868)12月

悠々城址内
さくら・つばき・もみじ...四季折々の庭園
霞ヶ城公園が歴史の面影を映す

花ごよみ

- さくら 4月中旬
- フジ 5月中旬
- アヤメ 6月中旬
- アジサイ 7月中旬
- オオウバユリ 8月上旬
- 菊人形 10月1日~11月23日
- 紅葉 11月上旬



10 二合田用水

光重公入府まもなく、城防備を目的に安達太良山麓より延々約18キロの距離を城内各所に引水した用水。幕府へは内密だった。

11 本丸跡

室町時代は奥州探題職・畠山氏の居城。のち会津領時代に蒲生氏、加藤氏により石垣積みで築造。平成5年から約5億3千万円、2年かけ石垣の全面修築復元工事が行われた。



9 少年隊の丘

明治100年の昭和43年命名。橋本堅太郎氏の父・彫刻家橋本高昇制作のブロンズレリーフ「二本松少年隊奮戦の図」や顕彰碑等が建つ。



8 智恵子抄詩碑

「樹下の二人」「あどけない話」の一節を、伝説が残る大小一對の「牛石」に高村光太郎直筆の銅板ではめ込んでいる。周辺の円形野外劇場のイメージは詩人草野心平の提案。



7 土井晩翠歌碑

旧会達製糸会社の社歌を作詞した晩翠は、昭和24年に発表会のため来松。花吹雪の中を散策し、その情景を詠んだ。昭和31年建立。



6 洗心亭 [県指定]

城址内に唯一残る江戸期の建造物で、木造カヤ葺き・寄棟平屋造りの茶亭。当時は「墨絵の御茶屋」といい、光重公がこよなく愛した。



5 霞ヶ城の傘マツ [市指定]

別称「八千代の松」ともいわれるアカマツの巨木で、樹齢300年を越す。

12 搦手門跡

裏門。今は門台石垣と門柱礎石のみが残る。



13 日影の井戸

千葉県印西市の「月影の井戸」、神奈川県鎌倉市の「星影の井戸」と共に日本の三井といわれる。



1 旧二本松藩戒石銘碑

〔国指定〕
藩士の戒めとするため、5代藩主高寛公が藩儒学者岩井田非に命じて、通用門前の自然石に刻ませた4句16文字の銘文。句は、教育資料としてまた行政の規範として価値が高いため、昭和10年に国指定。

3 箕輪門

光重公入府直後、御殿と共に最初に建造した櫓門。材料のカシの巨木は領内箕輪村山王寺山の御神木を用いたため、この名がある。



2 二本松少年隊群像

戊辰戦争激戦地・大壇口戦場の少年隊の奮戦姿と、わが子の出陣服を仕立てる母の姿を、日本芸術院会員・名誉市民の彫刻家橋本堅太郎氏がブロンズ制作、平成8年建立。

4 るり池

光重公時代の造園の姿を今に残す。布袋(ほてい)藩との組み合わせが小規模な回遊式庭園ながら、自然との一体感がかもし出している。

